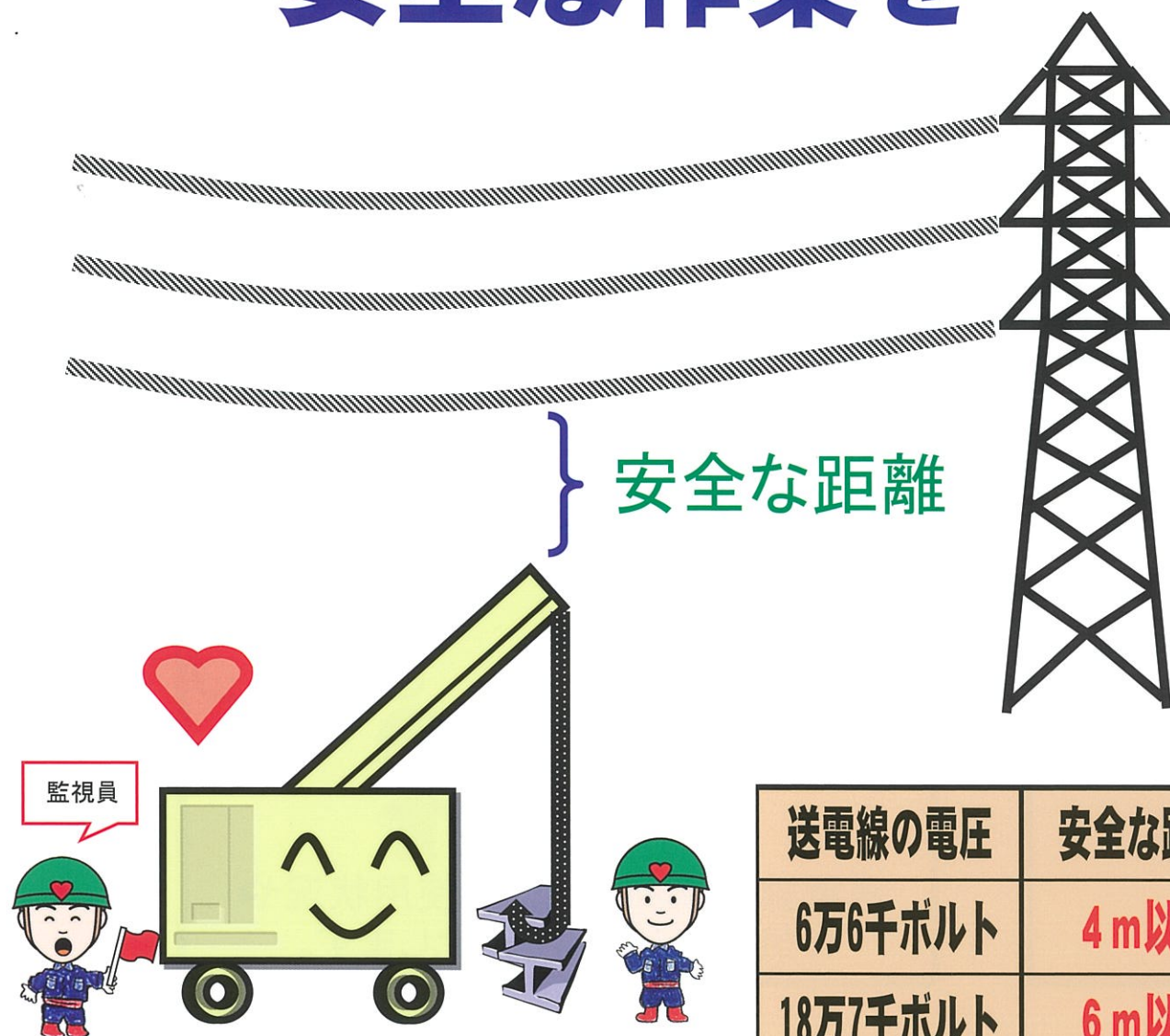


# 送電線との十分な距離を確保して 安全な作業を



送電線の電圧	安全な距離
6万6千ボルト	4 m以上
18万7千ボルト	6 m以上
50万 ボルト	11m以上

送電線付近でのクレーン車等を使用の際には、

【連絡先】



四国電力送配電(株) ネットワークコールセンター  
フリーダイヤル：0120-410-105

電話：088-656-4601(代表)

【保守担当箇所】

四国電力送配電(株) 徳島支社 徳島送電センター  
〒770-8555 徳島市寺島本町東2丁目29



## 送電線付近で工事をされる皆様へ

クレーン車等が特別高圧送電線に接近、接触すると、

- ・作業員が感電し、負傷、最悪では死亡事故が発生！
- ・多数かつ広範囲の店舗・工場・病院・家庭などが停電！

し、社会的に大きな影響が発生します。

また、

労働安全衛生規則第349条では、

→ 事業者に対して感電防止の措置もしくは監視員の配置

労働安全衛生法第29条第2号では、

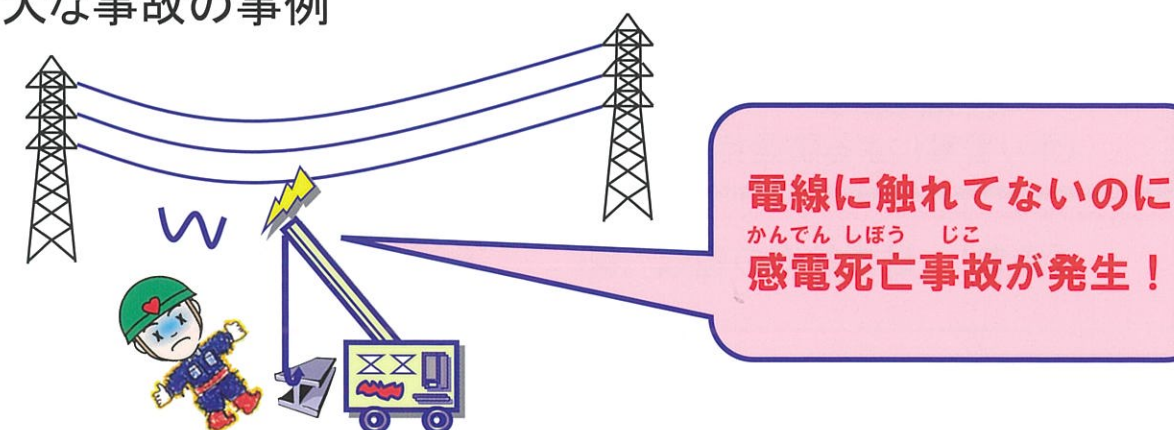
→ 元方事業者に対して関係請負人が実施する危険防止措置が適正に実施されるように技術上の指導その他必要な措置

を講ずるよう義務付けています。

○送電線におけるクレーン車等による電気事故、人身災害が発生した場合には、多額の損害賠償・現場作業の停止・法的責任・指名停止など多くの責任を施工業者が問われることとなります。

○悲惨な事故・災害を防ぐためには、工事現場付近に送電線がありましたら、お気軽に四国電力送配電(株)ネットワークコールセンターへご連絡下さい。電気事故防止の打合せや必要に応じて現場調査等を実施いたします。

### 重大な事故の事例



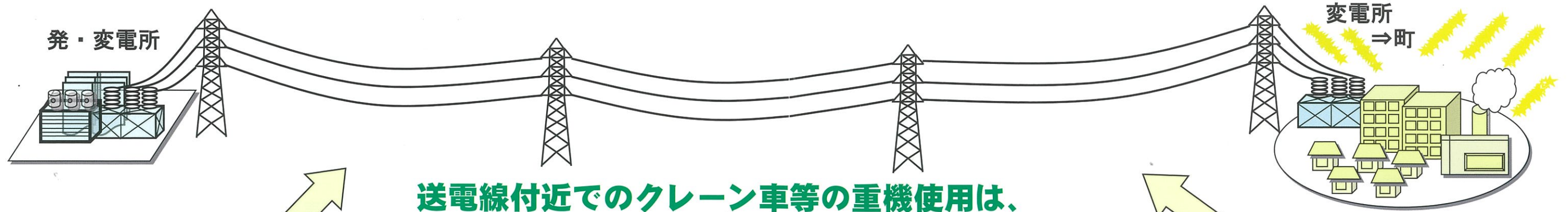
- 建造物新設工事において5 tonラフタークレーン車を使用し、資材の吊上げ作業中に誤って送電線に接近し感電事故が発生
- 玉掛け作業員が感電し、一時間後、死亡した
- 事業者は停電による損害を受けた工場・店舗および設備被害を受けた四国電力送配電(株) から多額の損害賠償請求を受けることもある
- 人身事故のため現場工事を停止されるおそれがある

### 主な事故原因

- 送電線があることを知っていたが、触れなければ大丈夫と思っていた
- 作業が短時間で終わるために四国電力送配電(株)に連絡しなかった



# 送電線は電気を送るための重要なライフラインです。



送電線付近でのクレーン車等の重機使用は、  
事前に「打合せ・確認」を行い安全な作業を！

電線に接触しなくても  
電気が流れます！

送電線は、触れ  
なくても感電す  
るから十分気を  
つけて下さい。

わかりました。  
常時、安全な距離  
を確保します。

送電線はハダカ線です。  
(ポリ管等による防護措置はできません)

感電により、死亡事故が発生  
するケースがあります！

送電線の電気で  
感電したら最悪  
死亡事故に  
つながります！

了解しました。  
気をつけて作業  
します。

送電線は高電圧であり、  
大電流が流れています。

電線高さは常時変化し、  
目測判断はキケンです！

例えば、  
←AM8:00  
←PM1:00

今の電線高さより  
垂れて低くなる  
ことを知って  
おいて下さい。

そうですか。  
十分、注意して  
おきます。

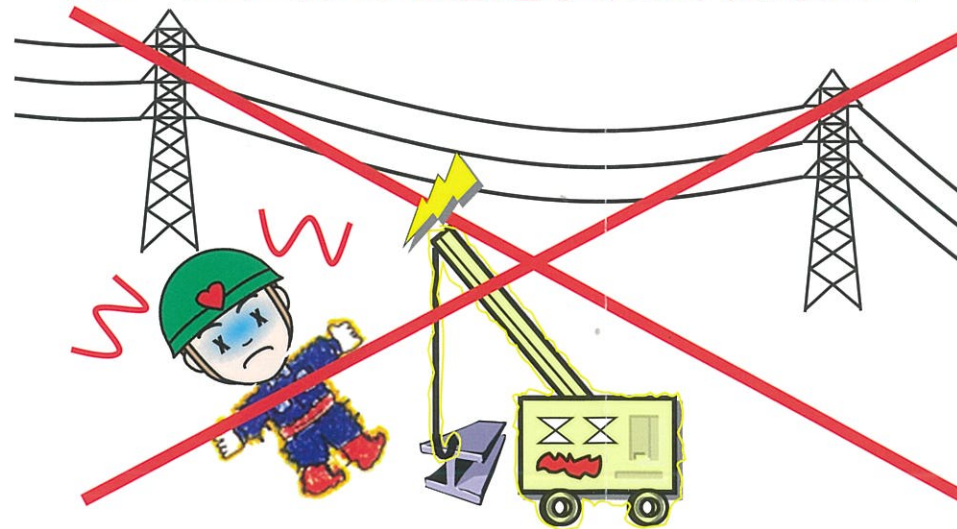
送電線の高さは電気の使用状況や  
外気温などにより変化します。

【参考】 送電鉄塔の種類 (例)



※現場により電圧や電線高さは異なりますので  
電力との打合せで確認してください！

クレーン車等による感電事故は、絶対ダメ！



損害賠償！

大停電発生！

人身事故発生！

施工者責任！

送電線付近で工事をされる際は、事前に四国電力送配電(株)と打合せを行いましょう！